

こんにちは。トリプルアイズの白石です。  
いつもお読みいただきありがとうございます。

10月に入り、緊急事態宣言が解除されましたね。

今回はそんな情勢に絡めて「コロナ感染“冬の第6波”に備えあれば憂いなし」をはじめ、「ジャズスクールへAIZE導入」「今月末開催の展示会のご案内」、好評連載「AIエンジニアの仕事1問1答」など盛りだくさんの内容でお届けします。ぜひ最後までご覧ください！

-----<目次>-----

1. コロナ感染“冬の第6波”に備えあれば憂いなし
2. トリプルニュース
3. 【プチ連載】 AIエンジニアの仕事1問1答
4. IT批評
5. 編集後記

-----

## 1. コロナ感染“冬の第6波”に備えあれば憂いなし



新型コロナウイルス（以下、コロナ）の第5波が収束の様相を見せています。政府は緊急事態宣言とまん延防止等重点措置を9月末で解除しました。では、コロナの流行は、これで終わりでしょうか。

どうやらコロナの流行には季節性があると見られており、世界各国の人流、ワクチン接種率、規制の強度には違いがあっても、**季節に応じて感染者が増減する**のは共通しているそうです。日本では昨年は10月末から感染者が増加し、ピークの1月11日まで増え続けました。今年はどうなるでしょうか。

日本は9月26日現在のワクチン接種完了率は58%で、すでに米国を超えており、高齢者への接種は完了しています。ワクチン接種が進んでいることは朗報ですが、一方でワクチンを打ったにもかかわらずデルタ株による**ブレークスルー感染も多く報告**されており、予断を許しません。もちろん第6波はきて欲しくありませんが、これまでの流行の波を考えるならば、備えあれば憂いなしの心づもりでいた方がよいかもしれません。

病床の確保など医療体制を整えることや補助金の拡充などは、関係省庁に任せるとして、企業としては何ができるでしょうか。経済活動を回しつつ感染にも備えるためには、**テレワークでの業務効率化（DX）は必須**ですし、テレワークができない職場では**クラスターを発生させない仕組み**が求められます。

トリプルアイズでは、テレワークをはじめとする**中小企業のDXをサポートするサービス「ITおたすけラボ」**をスタートさせました。

<https://otasukelabo.com/>

またクラスター発生防止のために、**AIZE Biz+が昨年より多くの企業様に導入・活用されています**。検温機能につきましては「週刊ポスト」でも取り上げられ、高い評価をいただいております。

ソーシャルディスタンスだけでは  
守れないものがある…  
**AIZE Biz+** **経営者様  
必見!**



**AI自動検温機**



<https://aizebizplus.jp/>

ウイズコロナもアフターコロナも、トリプルアイズはお客様のニーズにお応えできるよう、真摯に取り組んでまいります。

## 2. トリプルニュース

### 歴史あるジャズスクールのコロナ対策に AIZE 導入



東京都杉並区桜上水。駅から5分歩くと、そこには66年の歴史を持つ本格ジャズスクールがあります。

皆さん、ジャズはお好きですか？ 聴くだけに留まらず、演奏したいという熱量をもった生徒が集結するのが、ここ飯田ジャズスクールの特徴です。生徒だけでなく、講師も超一流！

そんなスクールに AIZE をご導入いただきました。

飯田ジャズスクール HP：<https://www.jazzschool.co.jp/>

マネジメントを担われる飯田様は、コロナ禍において教室の安全管理のため多くの情報を集め、丁寧に比較検討され、教室づくりをされています。性能がいいもの、かつ安価な製品を探すことに大変長けていらっしゃいました。

そんな飯田様に選んでいただいたのが AIZE+。スクールの皆さまにも好評いただいているようです。

インタビューでは AIZE の活用方法に留まらず、ジャズスクールの未来、DX についてもお話いただきました。

[こちら](#)より全文お読みいただけます。

### 第2回ブロックチェーン EXPO【秋】に AIZE を出展いたします！

トリプルアイズは、10月27日（水）～29日（金）に幕張メッセで開催される第2回ブロックチェーン EXPO【秋】に、株式会社キューブシステム様と共同で出展いたします。

今年の春に続いて、2度目のキューブシステム様との共同出展となります。ブースでは、キューブシステム様が開発したブロックチェーン技術を用いた社員間のエンゲージメントを支援する「スマイルシェアプロダクト」、並びにトリプルアイズの画像認識プラットフォーム・AIZE を採用した非接触型キャッシュレス決済サービス「スマイルレジ」が展示されます。

スマイルレジ や AIZE を体感できるコーナーをご用意しております。また、ブロックチェーンや画像認識 AI に

関するミニ講演も予定しております。新たなテクノロジーに触れることができる貴重な機会ですので、ぜひ足をお運びください。

## 第2回ブロックチェーン EXPO【秋】

期間：10月27日（水）、28日（木）、29日（金）

時間：10:00～17:00

会場：幕張メッセ

\*入場には予約が必要です。下記ホームページよりお申し込みください。

<https://www.bc-expo-at.jp/ja-jp.html>

## AI 店長マスクケースが、「ほしい！ノベルティ」で紹介されています

トリプルアイズでは、毎年お世話になった皆さまへノベルティをお配りさせていただいています。

昨年は「AI 店長マスクケース」でした。コロナ禍において役立てばと期待を込めたところ、多くの方にご好評いただきました。ありがとうございます！

今回、制作を依頼した「ほしい！ノベルティ」の HP、SNS にて大きく事例紹介されています。

<https://www.shop-stationery.com/labo/gallery/6068/>

そろそろノベルティを考える時期ですね。色々なアイテムがあるので、皆さまもぜひご覧ください。

## 3.【プチ連載】 AI エンジニアの仕事 1 問 1 答

エースエンジニア登場！

今回は AIZE 開発チームでチーフ AI エンジニアを務める HK さんの登場です。大学時代は地質学を勉強していた、その後 IT とはまったく関係のない業種に就職。そこからトリプルアイズに転職してプログラミングの勉強を始めたそうです。現在入社 4 年目、AI 歴も 4 年ですが、押しも押されぬエースとして活躍しています。

### Q. 子どもの頃からコンピュータには親しんでいましたか？

A. いいえ。自分のパソコンをはじめて持ったのが大学時代で、それからインターネットにつながるようになりました。

### Q. AI は独学で勉強したのですか？

A. 有料のセミナーをいくつか受けて講師の方から学びました。あとは本を読んで勉強しました。

### Q. AI エンジニアというと、数学が得意というイメージがあるのですが。

A. 研究者レベルであれば専門的な数学の知識が必要ですが、そうでなければ高等数学 +  $\alpha$  が理解できるレベルであれば大丈夫だと思います。AI で使うのは数学全般の中の一部なので、最短経路で学んでいけば数学はそこまでハードルにはならないと思います。

**Q. 一流の AI エンジニアとそうでないエンジニアの違いはどこにあると思いますか？**

A. 引き出しの数だと思います。ディープラーニングの方法論に関する情報は、技術系のサイトに載っている論文や技術文献を参照するので、自分のやっていることにどれがフィットするのか判断する能力が求められます。基本的に AI の開発はうまくいかないことが多いので、方法論の引き出しが少ないとすぐに行き詰まってしまいます。

**Q. センスと経験のどちらが求められますか？**

A. 経験の方が大事なのかなと思います。それこそ自分で AI の仕組みを考えて論文を書くレベルであればセンスが求められますが、私たちはすでにある方法論をシステムに組み込む側なので、どの方法を持ってくればうまくいくのかという応用力は経験によって培われると思います。

(次号もエースエンジニアに聞きます)

### 【AT20】反響続々！ AI エンジニア育成のための通信教育プログラム



通信教育方式で毎週の課題をこなしながら実務で通用する AI エンジニアリングの技能を身につけるこのプログラム、おかげさまでたくさんのお問い合わせをいただいております。

AT20 は、習熟度に合わせて学習スケジュールを決められる 4 つのコースを設けております。

- ・ 入門コース
- ・ Python 基礎コース
- ・ エンジニア初級コース
- ・ エンジニア中級コース

プログラムは随時スタートすることができますので、まずはお問い合わせください。

詳細は [こちら](#)

#### 4. IT 批評

JR 東日本の監視カメラ問題で露呈した「総括しない日本」～

ID は第四次産業革命を推進するキャピタルである

崎村夏彦×クロサカタツヤ デジタルアイデンティティー対談



これまで「IT 批評」では、デジタルアイデンティティーをサイバービジネスの本質と捉え、アイデンティティー・マネジメントやデジタル庁の動きなどについてレポートしてきました。

本稿では、デジタルアイデンティティーの第一人者である崎村夏彦氏と、総務省、経済産業省、OECD（経済協力開発機構）などの委員を務めるクロサカタツヤ氏を迎え、デジタルアイデンティティーをめぐる日本の行政、企業の課題について語っていただきました。

<https://it-hihyou.com/>

\*\*\*\*\*

#### 編集後記

今回もトリプルマガジンをお読みいただきありがとうございました。

コロナ対策をふくめ、全国 667 拠点で利用いただいている AIZE。アフターコロナにおいても、「顔認証、やっぱり便利だね！」と使い続けていただけるサービスになるよう日々進化させていきます。

それでは、次回のトリプルマガジンもお楽しみに！

\*\*\*\*\*